



連合愛知

かわら版

発行所
日本労働組合総連合会愛知県連合会
(連合愛知)
名古屋市熱田区金山町1丁目14-18
ワークライフプラザれある4F 〒456-0002
TEL.052(684)0005(代表)
FAX.052(684)0010
ホームページ <http://www.rengo-aichi.or.jp>

2008年9月 第192号

連合愛知2008
春季生活闘争



連合愛知 2008 春季生活闘争のまとめ

連 合 愛 知 の 取 り 組 み

連合愛知は、連合本部の「2008春季生活闘争方針」を地方において実践するために、中小・未組織労働者への支援を強化し、徹底した労使の話し合いと行政への働きかけにより安心・安定の将来を描く「総合生活改善の集中活動期間」として活動を展開した。

特に、パートタイム等の非正規労働者に関する取り組み、「STOP! THE 格差社会キャンペーン」

を中心とする政策実現の取り組みについては、労働組合の存在意義を広くアピールすべき課題と位置づけ、情報の共有化・共通認識の醸成、機運の盛り上げ等に取り組んだ。

以下に、その活動内容と取り組み結果を示すとともに、政策制度改善の取り組みなど今後の通年的な活動につなげていく。

1. 賃金・一時金の受結状況

賃金受結状況

連合愛知の集計による回答・受結結果では、ほぼ前年並みの実績と言えるが、加重平均では一部の規模が大きい加盟単組の影響により昨年比で若干のマイナスとなっている。愛知県および経営者協会の調べでは前年を上回る集計になっているが、相対的に今期の業績、今春闘の受結結果が好調な製造業の比率が高いことが影響していると考えられる。

- (1) 連合愛知の調査広報300組合による回答・受結結果について、177組合(59.0%)から報告があった。集計可能な78組合による集計結果は、個別A方式(純ペア)13組合・26,006人の加重平均で344円(昨年比-240円)、平均賃上げ方式65組合・37,982人の加重平均で5,562円(昨年比-352円)・引上げ率1.81%となっている。

- (2) 愛知県産業労働部調べでは、204社の賃上げ状況は加重平均で4,528円(昨年比+19円)・引上げ率1.67%となっている。また、愛知県経営者協会調べでは、180社の賃上げ状況は単純平均で5,038円(昨年比+15円)・引上げ率1.81%となっている。

- (3) 連合の賃上げ集計(7月2日現在)は、5,503組合・約310万人が受結し、昨年と対比可能な組合では、個別A方式(純ペア・35歳)40組合で653円(昨年比+189円)、個別B方式(定昇込み・35歳)48組合で5,536円(昨年比+385円)、平均賃金方式4,197組合の加重平均で5,624円(昨年比+149円)・引上げ率1.91%となっている。

夏季一時金受結状況

連合愛知の集計による回答・受結結果では、昨年を少し上回る実績となっている。月数集計と金額

集計では対象の組合に異なる部分があるため昨年との対比で若干異なるが、金額集計で昨年を上回っているのは、企業業績が好調だった大手組合の受結結果が引っ張っているためと考えられる。

- (1) 連合愛知の夏季一時金集計結果(7月10日現在)は、171組合から報告があり、加重平均で2.28カ月(昨年比+0.01カ月)・547,233円(昨年比+7,211円)となっている(年間協定分で報告のあった組合は、1/2の数値で集計)。
- (2) 愛知県経営者協会の夏季賞与交渉状況報告(5月28日現在)によると、91社における受結結果は、698,331円、2.48カ月(昨年比+3,310円;同一企業対比)である。
- (3) 連合本部の一時金集計(7月4日現在)は、年間協定で加重平均5.02カ月(昨年比+0.05カ月)・1,545,982円、夏季分で加重平均2.34カ月(昨年と同月数)・706,150円となっている。

2. 具体的な活動

生活改善に関する取り組み 情報の共有化・共通認識の 醸成と機運の盛り上げ

12.21 春季生活闘争学習会



- (1) 2008春季生活闘争学習会の開催
克服すべき諸課題について認識を一致させるとともに、構成組織における春季生活闘争の方針論議に資するため、12月21日(金)、ワークライフプラザれあるに連合

本部の團野副事務局長を招いて「2008春季生活闘争学習会」を開催した。情勢報告や連合の闘争方針の説明が行われ、重点課題や取り組み等について共通認識を醸成することができた。

- (2) 2008春季生活闘争 1万人総決起集会の開催

2008春季生活闘争における要求実現と闘争の盛り上げを図るため、3月2日(日)に名古屋市の栄・久屋広場において「2008春季生活闘争 1万人総決起集会」を開催した。

連合「STOP! THE 格差社会キャンペーン」の一環として、集会後のデモ行進とあわせた街頭宣伝行動を展開し、ティッシュ・チラシの配布と訴えにより市民への理解と世論の喚起を図った。



3.2 春季生活闘争1万人総決起集会

(3) 2008春季生活闘争 交渉状況交流会の開催

3月4日(火)に開催した第3回春季生活闘争委員会において、副会長産別を中心とする10構成組織の要求のポイントや交渉のヤマ場に向けた状況を共有化し、相乗効果の発揮に努めた。

(4) 「2008春季生活闘争 官公部門決起集会」の開催

民間労組の回答引き出しのヤマ場に合わせた3月13日(木)に、名古屋市教育センターにおいて「2008春季生活闘争 官公部門決起集会」を開催した。公務労協の吉澤事務局長から公務公共サービスをめぐる情勢や課題についての講演をいただき、官公労組

組合員の意志結集を行った。

(5) 賃上げ・一時金等の要求内容・妥結内容の調査とフィードバック

調査広報300組合の協力を得て、賃上げ・一時金等の主要要求と回答・妥結の内容について調査した。構成組織・単組等へのフィードバックとして、要求情報を中心とする春闘情報誌第1号を3月2日に発行した。

先行組合の集中回答日後の3月27日には主要組合の回答情報を中心とした第2号を、また、中小労組の解決促進を意識した内容の第3号を4月11日に発行した。連合愛知のほか連合本部や愛知県経営者協会の集計結果を掲載した第4号は5月19日に発行した。

集められた要求や回答・妥結についての調査結果は、できる限り迅速に連合愛知事務局内に掲示し、機運の盛り上げを図った。さらに、タイムリーに情報提供を行うため、春闘情報をFAX速報として各構成組織に送付するとともに、ホームページ上にも掲載し、情報の共有化を図った。

生活改善に関する取り組み
中小・未組織労働者の支援の取り組み



(1) 中小共闘センターの設置

中小労組の闘争を支援するため、12月6日(木)の第1回中小・雇用労働委員会において「中小共闘センター」を設置した。中小共闘センターニュースの発行や構成組織への相互激励訪問を通じて交渉環境の醸成や解決促進を支援する活動を展開するなど、中小共闘センター中心に中小労組の支援に取り組むことができた。

今後は、個別賃金データをより多く集約し、中小労組の交渉に活かせるよう、通年で取り組んでいく。



3.13 官公部門決起集会

(2) 中小労組決起集会の開催

中小労組の交渉環境整備と闘争の盛り上げを図るため、1月31日(木)に「つまみプラザ」において167人の参加を得て「2008春季生活闘争中小労組決起集会」



を開催した。連合本部の龍井非正規労働センター総局長から今春闘をどう闘うかについての提起を受け、中小・未組織・地域社会への効果的な波及に努める意思統一ができた。今後、加盟単組の役員に参加の呼びかけをさらに強めていく。

(3) 中小労組情勢報告交流会の開催

中小労組の解決促進に向けた体制強化と決意を固める場として、3月27日(木)にワークライブプラザれあるにおいて「2008春季生活闘争中小労組情勢報告交流会」を70人の参加を得て開催した。連合本部の中小共闘の取り組みや愛知の5構成組織における闘争状況の報告交流を行い、解決促進を図った。



3.27 中小労組情勢報告交流会

(4) 連合愛知ミニマム値の設定、連合ミニマム運動データの調査

連合愛知ミニマム運動と賃金カーブ改善に取り組み、労働条件の底上げをめざして連合愛知ミニマム目標値を設定し、中小労組自らが賃金実態を踏まえて個別賃金の絶対水準を重視した積極的な格差是正に取り組んだ。

また、自らの職場の賃金カーブを描き、カーブの維持・改善を図る「連合ミニマム運動」の調査活動に参加し、中小労組の格差是正の取り組みを支援した。

(5) 賃金分析プログラムを活用した地域ミニマム運動の推進

中小労組の賃金・労働条件の底上げを図るため、個別賃金分析プログラムを活用した地域ミニマム運動を推進した。2構成組織の協力を得て説明会を開催するなど、単組での活用拡大に取り組んだ。

連合東海ブロックの方針に沿って通年的に取り組んでいる個別賃金調査を通じて、4構成組織、49単組の賃金実態を把握するとともに、賃金制度の確立・改善に努めた。さらに多くの構成組織に働きかけ、活用の拡大を図っていく。

(6) 愛知県最低賃金額の引き上げに向けた企業内最低賃金協定化の促進

愛知県の経済情勢や労働環境にふさわしい最低賃金水準の引

き上げを図るため、関係構成組織は各産業別最低賃金の20円以上UPを目標に企業内最低賃金協定の締結・改定に取り組んだ。

「輸送用機械」について、構成組織の多大な協力と尽力により協約ケースでの申入れを実現できた。地域別最低賃金に対する産業別最低賃金の優位性を維持向上させるため、協定額のさらなる引き上げを呼びかけていく。

ワークルール、働き方に関する取り組み

(1) 働くものためのワークルールの実現、法令遵守の取り組み

2007年に成立したパート労働法をはじめとする5つの法律の内容の理解を深めるとともに、重点課題としている労働者派遣法、障害者雇用促進法、入国管理法について、連合がめざす法制化の実現に向けて理解・啓発活動に取り組んだ。

「働くものためのワークルール実現」に向けた街頭宣伝行動については毎月実施し、3月2日(日)には「2008春季生活闘争1万人総決起集会」と連動して行った。

個々の構成組織・加盟単組においては、2月を中心に職場点検活動を推進し、法律・労働協約の遵守、安全問題への対応を徹底して、公正なワークルールの確立に努めた。

1月30日から2月29日の間で、連合愛知および各地域協議会単位で、労働法制をめぐる情勢、法律の成否、連合の対応、2008年4月施行のパートタイム労働法改正の概要と労働組合としての対応を内容とする学習会を実施し、のべ637人が参加した。

公正なワークルールを実現していくため、さらに職場、単組での取り組みを呼びかけていきたい。

**(2)「高齢者雇用安定法」を踏まえ
た定年の上げや継続雇用制度
の導入に向けた取り組み**

2006年4月1日に改正された
高齢者雇用安定法を踏まえ、「仕
事の見直しと職場環境整備」、「組
合員化」を課題として、「定年の
引上げ・廃止」など各組合での取
り組みを呼びかけた。

中央、地方での連携を深め、高
年齢者を対象とした社会保障制
度の充実、見直しを働きかけて
いく。

**(3)民間企業、公的機関における障が
い者雇用率の達成への取り組み**

法定雇用率の達成企業を増や
していくことが、障がい者雇用の
促進につながるとの考えから、各
企業において障がい者の法定雇
用率を満たすための取り組みを
呼びかけた。障害の種類や程度
にあわせた職場環境づくりや労
務管理などについて、理解を促
進できるよう取り組んでいく。

**(4)総合労働環境改善の労使協議推
進の取り組み**

総合的な労働環境の改善と底
上げをめざす春季生活闘争の重
要課題を周知し、加盟単組にお
ける交渉に役立てることを狙い
として、春闘情報誌第1号と同時
に全単組に対して「2008春季生
活闘争 重要課題についての労使
協議推進チェック票」を展開した。

**パートタイム労働者等
非正規労働者に関する取り組み**

**(1)パートタイム労働者等に対する
組織化の取り組み**

ますます加速するパートタイム、
派遣など「使い勝手の良い労働」
の追及に対して、「STOP! THE
格差社会キャンペーン」の街頭
行動を通し、支援・連帯強化のた
めの活動を展開した。

未組織事業所で働く非正規労
働者については、2月5日(火)~

7日(木)に実施した「全国一斉労
働相談ダイヤル」と組織拡大強
化月間中の5月13日(火)~16日
(金)に実施した「非正規雇用者
の労働相談ダイヤル」の告知を
通じて労働相談対応や組合づく
りの呼びかけを行った。

構成組織、加盟単組における組
織拡大の取り組み目標を把握す
るため、今年1月に組織拡大目標
調査を実施した。その結果、2008
年からの2か年で10構成組織119
組合が、15,300名の非正規労働
者の組合員化に取り組むことが
報告された。非正規労働者の比
率が急激に上昇していることを
踏まえると、今後の大きな課題の
ひとつであり、積極的に組合員化
に取り組まなければならない。

(2)情報交換会の実施

パートタイム労働者の賃金・労
働条件の改善に関する取り組み
について、現状に対する理解を
深め、均等・均衡待遇の実現な
どに向けた取り組みを促進するた
め、2月29日(金)にワークライフ
プラザ れあるにおいて産別間の情
報交換会を開催した。

また、第13次組織拡大強化月
間(5月~6月)の取り組みにつな
げるため、組織拡大目標調査の
結果も踏まえながら、パート
タイム労働者等の組織化に関する
情報交換会を4月16日(木)にワー

ークライフプラザ れあるで開催した。
11構成組織が参加し、パート
タイム労働者や定年後再雇用者
の組合員化に関する先事例の報
告、職場の実態や組合員化の状
況についての情報交換を行った。

今後は、定期的な情報交換会
の実施や参加構成組織を増やす
ことなどが課題である。

政策制度に関する取り組み

**(1)2008春季生活闘争と連動した政
策キャンペーンの展開**

2008春季生活闘争の社会的
機運の盛り上げ、連合・連合愛知
の重点政策テーマについて周知
と理解を図り、「二極化」「格差
社会」を是正し「安心して公正な
社会」の実現に向けて2月~3月
にかけて政策キャンペーンを展開
した。

また、政策キャンペーンに合
わせて、新規政策提言の参考デ
ータとするため、組合員の「仕
事と生活の調和」に関するアン
ケート調査を実施した。

(2)税制・確定申告運動の取り組み

目まぐるしく変わる税制改正
の内容や、正しい税の知識の習
得を通じて、納め過ぎた税金の
還付や納税義務を遂行すると
ともに、公正な税制度のあり
方や連合の政策提言への理解
を深める「税制・確定申告セ
ミナー」を12



12.13 税制・確定申告セミナー

月13日(木)~14日(金)に実施した。

各組織での展開を経て、申告書を集約し、2月28日(木)~29日(金)を軸に全地域協議会と連携して県下の各税務署へ、税制に対する「要望書」と確定申告書の提出行動を実施した。還付が1,827件、還付予定金額は1,212万円を超え、納付は199件で納付額は789万円となった。

(3)「STOP! THE 格差社会キャンペーン」第2弾の取り組み

連合本部の提起を受け、構成組織、地域協議会の協力のもと、1月から3月に格差の拡大や二極化に対する連合の具体策を訴える街頭宣伝行動を実施した。

2月17日(日)には、「市民の生活向上キャンペーン」と題してNPO団体等と連携し、格差社会からの脱却を市民に訴える取り組みを金山総合駅で実施した。3月2日(日)には「2008春季生活闘争 1万人総決起集会」とあわせてデモ行進時に街頭宣伝行動を行った。今後も、社会に対して、連合の政策をわかりやすく表現し、訴えていく。

行政、経営者団体等への要請行動

(1)人事院中部事務局長交渉

中央における公務員連絡会(公



2.21 愛知労使懇談会

務労協)の人事院・総務省交渉と連携し、3月19日(水)に人事院中部事務局において、人事院中部事務局長交渉を実施した。官民給与比較方法の抜本的な見直しや労働時間の短縮等をはじめとする統一要求実現に向けた「要求書」を提出し、人事院中部事務局側と意見交換を行った。

(2)愛知県知事・名古屋市長への要請行動

公務部門に働く組合員をはじめとする勤労県民・市民の総合的労働条件の維持・改善に向けて、3月27日(木)に愛知県知事と名古屋市長への要請行動を実施した。

公共サービスの質の確保や地方公務員の生活向上などを求めた「要望書」を、愛知県・名古屋

市に提出するとともに意見交換を実施し、勤労者・生活者の視点に立った政策の推進を要望した。

(3)経営者団体との懇談会の実施

愛知県経営者協会との定例懇談会を2月21日(木)に実施し、春季生活闘争における県内労使の意見交換を通じて、労使交渉の環境整備と盛り上げを図った。

2月13日(水)には、中小共闘センターの委員長、副委員長が参加し、中小企業団体中央会と懇談会を行い、公正取引の実現など春期生活闘争における課題について意見交換を実施した。今後は、懇談会のテーマを決め、共通の課題解決に向けてそれぞれが取り組めるように内容の充実を図っていく。

3 . 全 体 の ま と め

(1) 連合愛知は、格差社会からの脱却をめざす連合本部の闘争方針を踏まえて、地方連合会の立場で取り組みを推進した。春闘前の環境としては、企業業績は増益が見込まれ、個人消費拡大を求める機運から追い風と見られていたが、米国のサブプライムローン問題や原油・原材料価格の高騰、円高・株価下落などが影響し、一転して厳しい交渉となった。世界経済の潮目が急激に変わったこ

とを考慮すれば、ほぼ昨年に近い水準の成果を得られたことは評価できるが、今春闘でめざしてきた労働分配率の反転や、企業規模や雇用形態による格差の是正という点では引き続き課題を残した。

中小労組においては、早い時期に回答を引き出した組合で昨年を上回る成果を得られた組合も多かったが、時間の経過とともに解決水準が低調となる傾向が

あった。今後は共闘の観点を含めて、早いタイミングでの要求提出、回答引き出しを促進する取り組みを強化することが必要と考える。

構成組織・加盟単組の交渉をサポートする連合愛知の立場としても、情勢の変化に対応した情報提供や機運の盛り上げ等を意識して、取り組まなければならない。

(2) 中小労組支援の課題については、中小共闘センターの活動を中心



に取り組んだ。初めての取り組みとして中小共闘センターニュースを発行し、特に3月末には、中小労組情勢報告交流会の様子を伝え、加盟単組の機運の盛り上げを図る内容のニュースをカラー刷りで作成して配布した。

個別賃金分析プログラムを活用して賃金カーブを維持・改善する連合東海ブロックの地域ミニマム運動では、構成組織の協力を得て説明会を行うなど取り組みの広がりが見られた。今後、通年的な取り組みとして、さらに多くの構成組織に働きかけ、活用の拡大を図っていく必要がある。

企業別最低賃金協定では、「輸送用機械」で協約ケースでの申入れを実現できたことは、大きな前進である。地域別最低賃金に対する産業別最低賃金の優位性を維持向上させるため、さらに多くの企業での協定締結、最低賃

金の引き上げに継続して取り組み、働く仲間の賃金の下支え、格差の是正につなげていかなければならない。

(3) 今春闘では、「格差社会からの脱却」の観点から、パートタイム労働者等非正規労働者に関する取り組みの強化を図った。

未組織の非正規労働者に関しては、「STOP! THE 格差社会キャンペーン」の街頭行動の中で格差是正を訴え、非正規労働者を意識した労働相談ダイヤルを2月と5月に実施した。労働相談のフォローや組合づくりについては、体制を含めた強化が必要である。

加盟単組の企業内で働く非正規労働者に関しては、均等待遇・処遇改善の実現、正社員登用制度の整備や登用機会の拡大などについて、労使協議を行い、成果を得た組合もあった。同じ職場に働く非正規労働者の組合員化は、

今後の組織拡大の取り組みにおいても重要な課題である。

また、今春闘においてはパートタイム労働者等非正規労働者の「賃金・労働条件の改善」と「組織化・組合員化」に関する2回の情報交換会を実施し、有意義な機会となった。連合愛知として、先行組合の事例を紹介し、組織内への波及を図っていく役割を強化していく必要がある。

(4) 連合愛知は、「STOP! THE 格差社会キャンペーン」を毎月1回、NPO団体等と連携した「市民の生活向上キャンペーン」や1万人総決起集会とも連動しながら実施した。現在も、毎月街頭行動に取り組んでいるが、継続して実施するだけでなく、わかりやすく訴える仕掛けや、マスコミに対するリリースの方法などを検討して、取り組みを進める必要がある。

あなたの職場で働くすべての人と家族の
こころの相談室

心の相談室

電話相談 専用電話 **052(482)9174**
月/15:00~19:00 水/12:00~19:00 金/16:00~20:00
祝祭日を除く。相談料は無料ですが、電話料は相談者負担となります。

面接相談 場所/(社)日本産業カウンセラー協会中部支部
事前の予約が必要です(1回の面接時間は1時間以内)。2回目までの相談は無料、3回目以降は1回当たり1,000円を相談者に負担して頂きます。



ZENROSAI [NEW]

**見直してください。
あなたとご家族に最適な保障。
全労済の「保障設計運動」で
実現してください。**

全労済は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。すでに組合員は全国で1,300万人。出資金をお支払いいただいて各都道府県生協の組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

保障のことなら
全労済
全労済生活保障共済連合会



恒久平和の実現をめざして！

連合「平和行動 in 広島・in 長崎」に参加

広島と長崎に原子爆弾が投下されてから、63回目の夏を迎えた。連合は、平和への意識喚起、核兵器廃絶など恒久平和の実現をめざし、広島と長崎において平和行動を実施した。連合愛知からは、土肥副会長を団長とする20名が「平和行動in広島」に、また、小林副会長を団長とする16名が「平和行動in長崎」に積極的な参加を行った。

8月4日～6日に実施された「平和行動in広島」では、「核兵器廃絶2008平和ヒロシマ大会」に出席し、折り鶴の献納・平和アピールの採択などを行った。また、「ピースセミナー」で被爆体験者(語り部)の証言を聞いたあと、「ピースウォーク」として原爆ドームや数々の慰霊碑などを巡り、



ピースウォークで平和祈念像を訪れた組合員



「広島市平和祈念式」に参列した組合員

現在でもその傷跡を残している原爆の実相に触れた。最終日となる6日には、全国の被爆者や遺族など45,000人とともに「広島市原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式」に参列した。

8月7日～9日には「平和行動in長崎」が実施され、「核兵器廃絶2008平和ナガサキ大会」に出席した。さらに、現地ボランティアガイドの説明のもと慰霊碑や戦跡等を巡る「ピースウォーク」に参加したり、最終日の9日には「長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典」に参列したりした。

今回の平和行動in広島・in長崎への参加を通して、参加者は原爆をはじめとする戦禍によって亡くなられた方々の冥福を祈るとともに、恒久平和の尊さを改めて実感し不戦を誓った。

労働者保護の視点で派遣法改正を！

「STOP! THE 格差社会キャンペーン」街頭宣伝行動を実施



労働者派遣法の改正を訴える神野会長

連合は、格差は正の具体的解決策を社会にアピールし世論喚起を図るため、「STOP! THE 格差社会キャンペーン」今こそ政策と政治の転換を！」の取り組みを展開している。これを受けて連合愛知も、毎月1回の街頭宣伝行動を継続して実施している。今回は8月25日、神野会長、度会事務局長をはじめ構成組織代表者、国会議員などおよそ60名が参加し、名古屋駅前にお

いて街頭宣伝行動を実施した。

神野会長は、「一日8時間、一生懸命に働いた結果、生活保護水準よりも低い賃金ということがあってもいいのか」「働く人の知恵や能力を活かすためにも、働く人が幸せに生活できる社会に変えていくことが必要」などと指摘し、「労働者保護の視点に立った労働者派遣法の改正」を訴えた。また参加者は、小雨の降るあいにくの天候であったものの、名古屋駅前街頭においてチラシ等を配布することで「みんなの声を力に変えよう!」と駅利用者に訴え、連合の実施する「STOP! THE 格差社会キャンペーン」の啓発を行った。



名古屋駅前
でチラシ等を
配布する
組合員

労働組合活動や役割への理解促進を図る

インターンシップ研修の受け入れを実施

連合愛知は、連合の「教育が未来を創る - 連合・教育改革12の提言 -」を踏まえ、学生に職業体験教育の機会を提供するとともに、これから社会へ出る学生に労働組合(連合愛知)活動とその役割等に対する理解促進を図るためインターンシップ研修を行ってきており、これまでに18名の受け入れ実績がある。

2008年度は、8月21日～9月3日の10日間にわたって大学3年生1名を受け入れ、インターンシップ研修を実施した。研修期間には、愛知労働局や名古屋市の「政策要望懇談会」を傍聴したほか、連合愛知活動の詳細を知るために各局から説明を受けた。構成組織や地域協議会事務所、また、若年層や女性の雇用環境について理解を深める目的で「ヤング・ジョブ・あいち」や「ジョイナス・ナゴヤ」への訪問も実施した。最終日には、研修課題として取り組んできた「サービス残業」をテーマにレポートをまとめ、研修報告会で発表した。



「ヤング・ジョブ・あいち」で説明を受けるインターンシップ生

短期間の研修ではあったものの、インターンシップ生は諸活動の体験を通して、労働組合についての認識が大きく変わったようであった。

愛知県は17円アップの731円に

地域別最低賃金、10月24日に発効予定

改正最低賃金法が7月1日に施行されたのを受けて、中央や各都道府県において2008年の最低賃金改正の審議が行われた。

連合愛知は審議会に委員を派遣し、労働者の立場から「最低賃金は、労働者が健康で文化的な最低限度の生活を保障するものである」と、生活保護制度の課題、最低賃金との比較の矛

盾などを指摘した。本来の「賃金」「生計費」「事業主の支払い能力」という3要素に沿って、最低限度の生活ができる水準をめざし、産業県“愛知”にふさわしい最低賃金の引き上げに取り組んできた結果、愛知県内の最低賃金は17円の引き上げ、1時間あたり731円となった。今後は、この引き上げを足がかりに産業別最低賃金の審議に臨んでいく。

すべての人に人間らしい労働を取り戻そう!

「ディーセントワーク世界行動デー」に参加



World Day for Decent Work
October 7 2008



連合本部は、ITUC(国際労働組合総連合)の提唱による「ディーセントワーク世界行動デー」の実施を受け、日本における中央集会の開催などの取り組みを決定した。

東京で10月9日に開催される「ディーセントワーク世界行動デー 10.9中央集会」は、不安定雇用の増大、格差の拡大、労働の尊厳の軽視などといった深刻さを増す諸問題に対して労働者が共通認識をもち、連帯を確認することで、今後の取り組みへの弾みとしていくものである。「すべての人に人間らしい労働を取り戻そう!」をメインスローガンに掲げる中央集会では、連合だけでなく、ITUCや韓国労総のアピールが行われるほか、参加者2,000名によるアピール・ウォークが実施される。全国レベルでの運動の盛り上げがディーセントワーク(労働の尊厳)を守るために大切であり、連合愛知も街頭宣伝行動などを通して、広くディーセントワークの実現を訴えていく。

【確認事項】

1 当面の日程について

2 連合愛知各種委員会の委員交代について

構成組織の事情により、下記のとおり委員を交代する。

(1)委員関係

委員会名	構成組織名	新	旧
総合委員会	電力総連	加藤孝雄	堀内健一
政策委員会	情報労連	清瀧照光	三島和弘
組織拡大委員会	"	島津好二郎	須田 勇
男女平等参画推進委員会	"	加藤夕紀	森脇由香
メーデー企画委員会	"	森 尚己	稗田正彦
総務委員会	電力総連	加藤孝雄	堀内健一
女性委員会	情報労連	加藤夕紀	森脇由香

(2)幹事関係

幹事会名	構成組織名	新	旧
政治センター幹事会	情報労連	中村哲也	豊田 弘

3 退任役員への功労記念品の贈呈について

4 2009年度 連合愛知年間大日程(案)について

5 平成20年度 「職場の健康づくり指導者セミナー」への参画について

連合愛知安全衛生センターとして、職場における健康づくりの知識と技術を身につけた指導者を養成し、健康づくりを推進するため参画する。

- (1)日 時:2008年10月16日(木)9:30~17:00
~17日(金)9:30~16:30

- (2)場 所:あいち健康の森 健康科学総合センター

6 地協事務局長の交代について

三河西地協からの申し出により、事務局長を以下のように交代する。

地協名	役職名	新	旧
三河西地協	事務局長	中野英次 (自動車総連)	松永重治 (自動車総連)

7 連合愛知「2008労働条件実態調査」の実施について

- (1)内 容:賃金、一時金、退職金、労働時間、休暇など
- (2)対 象:連合愛知 調査広報300組合
- (3)期 間:2008年9月1日(月)~10月24日(金)

8 「2008コース・フォーラム」の開催について

- (1)日 時:2008年10月10日(金)13:30~19:00
- (2)場 所:Reception House名古屋通信会館

9「今こそ政策と政治の転換を!」の取り組み(その2)について

連合本部の「STOP!THE格差社会キャンペーン」に連携し、連合愛知は街頭宣伝行動などの取り組みを以下のとおり行う。

(1)取り組みのポイント

物価高騰緊急対応 所得税減税など生活費助成と中小・下請け支援を!
労働者の使い捨ては許さない 最低賃金の大幅引き上げと労働者派遣法の改正を!
安心して働ける職場・社会を 子育て支援とワーク・ライフ・バランスの積極推進!
医療難民を無くせ! 信頼できる医療・介護と年金を!

(2)連合愛知街頭宣伝行動

2008年 9月18日(木)17:30~18:30 金山総合駅周辺
2008年10月24日(金)17:30~18:30 名古屋駅周辺
2008年11月21日(金)17:30~18:30 金山総合駅周辺
2008年12月12日(金)17:30~18:30 名古屋駅周辺

(3)その他

政治情勢を踏まえ、連合の方針が提起された場合は別途検討する。

10 2008年度 教育改革運動への協力について

- (1)「愛知の教育をよくするための県民陳情署名」(団体署名)への協力
- (2)第58次教育研究愛知県集会への参加

11 知事、名古屋市長との懇談会の開催について

- (1)知事との懇談会
日 時:2008年10月15日(水)15:30~17:00
- (2)名古屋市長との懇談会
日 時:2008年10月21日(火)10:00~11:30

12 新規政策提言『「仕事と生活の調和」を実現し、労働の尊厳を取り戻すための提言』(案)について

13 北方領土返還要求街頭啓発・署名活動の協力について

- (1)期 間:2008年10月~11月の2ヵ月間

14 第21回愛知県勤労者スポーツ大会への対応について

- (1)日 時:2008年11月1日(土)9:00~16:00
- (2)場 所:大高緑地公園
- (3)協力要請

参加者募集のPR
大会運営委員の派遣



三島副会長

【議 事】

1 非専従役員交代について

(1)副会長の交代

構成組織	新	旧
情報労連	三島 和弘	中村 宜熙

(2)執行委員の交代

構成組織	新	旧
自動車総連	嶋口 忠弘	伊藤 尚敏
サービス・流通連合	西浦 敬子	関島やよい

2 各種審議会・委員会等への派遣について

3 連合愛知規約の一部改定(案)について

4 2009~2010年度活動方針(案)<活動の基調>

5 連合愛知第20回定期大会の開催について(公示)

- (1)日 時:2008年10月28日(火)13:00~17:00
- (2)場 所:つるまいプラザ(愛知県勤労会館)講堂
- (3)主要議題

- 第1号議案 2009~2010年度活動方針(案)
- 第2号議案 2009年度予算(案)
- 第3号議案 規約改定
- 第4号議案 役員選出
- 第45回衆議院選挙必勝決議(案)

6 2009年度 暫定予算について

7 登録人員の変更について

(1)交通労連

変更内容
登録人員 430人 428人(2)
会費納入人員 387人 385人(2)
変更理由
加盟組織の組合解散および脱退等のため

8 東海ブロック 第五次 相互推薦について

選挙区	推薦候補者	年齢	現・新	所属政党
岐阜 2区	橋本 勉(はしもと べん)	55	新人	民主党
三重 3区	藤田大助(ふじただいすけ)	31	新人	民主党